

しあわせ

2 月 号



世の中を 夢と見る見る はかなくも
なほ驚かぬ 我がこころかな

(西行法師)

「手を合わす母」

二月七日は如月忌。九条武子夫人の命日である。九条武子夫人は西本願寺のお嬢さんで京都女子学園の設立など女子教育にご尽力されたり、関東大震災の後、被災者への支援に奔走された。

そのご功績を偲んで武子夫人の命日、二月七日を如月忌として仏教婦人会ではダーナ募金を行って、社会活動に貢献している。

ダーナとは、古いインドの言葉で旦那の語源。他者に施し(布施)をする、いわば慈善活動のことである。旦那さんとは、本来、ダーナする人、慈善活動をする人のことを言った。

九条武子夫人のご功績を偲んで佛教婦人会では毎年二月にダーナ募金をして社会活動に貢献している。

最近、災害ボランティアやエスディージーズなど常に社会活動に取り組む人々や団体が増えてきたことは有り難いことである。

法座案内

△法味の会▽

二月 十八日(金) 午前十時

お話 自坊住職

△春季彼岸法要▽

三月 十八日(金) 昼席・夜席

十九日(土) 昼席

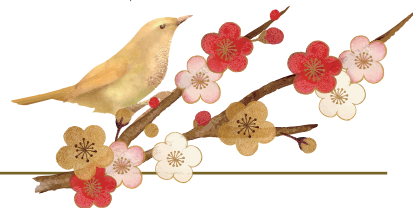
講師 服部法紹師

(豊浜町 登照寺住職)

※本堂内は常時換気しておりますが、参拝の際は、検温・マスク着用をお願い致します。

府中町山田二丁目一五十三
栢原山 龍仙寺

電話(〇八二)二八二四八二



針の穴に、雲の上から糸を通す。人として生を受けることは、それほど難しいことだとお釈迦さまは説かれました。有りえないことが、今まさに有りえている。それが今日という一日をいただいていることなのだと。では、わたしたちは、その有り難きいのちの不思議を、本当に見つめていくのでしょうか。

「もしお前が一日生きたならば、それですべてを見たことになる。その一日は、すべての日と等しい。別の光も、別の闇もないのだ。この太陽、この月、これらの星、それらの配置は、おまえの祖先が享受したものにほかならず、おまえの子孫を楽しませるものと変わらないのだ。父親たちも別のものを見なかったし、子孫もまた、別のものを眺めることはないだろう。」

十六世紀の思想家モンテーニュの言葉です。いつの世も、今日という一日のほかに、本当に見つめるべきものは何もないのですね。

いま、原稿を書いている窓から、夕日によってあかね色に染まった町が見えています。今日という一日も、あつという間に終わろうとしています。はたして、この一日を大切にできたのか。二度とないこの一日のなかで、自分はこの眼で何を見てきたのか、そう思うと、はなはだおぼつかないことです。

そもそも本当ならば、今朝目がさめたとき驚かねばならなかったはずですね。昨晚「おやすみ」と目を閉じて、今朝「おはよう」と言えたことは、決してあたりまえではないのですから。しかし暗いなか目をあけてまず頭に浮かんだのは、「ああ、そろそろ起きないといけないなあ」という残念な思いでした。

本当に驚くべきことに驚かず、むしろ当たり前にして虚しく一日を過ごしているかぎり、わたしたちには、いのちの影すら見えていないのでしょうか。今月は、西行法師が作られた有名な一首をとりあげましょう。

世の中を 夢と見る見る はかなくも

なほ驚かぬ 我がこころかな (西行)

仏教では、この世はすべて凡夫の妄念が描きだした夢幻であると説かれています。夢幻の世ときけども、きけども、「なほ驚かぬ」わたしの心。受けがたい人としての生をたまわり、さらに親子として、夫婦として、あるいは朋友として、かけがえのない縁をむすびながらも、夢幻のなかですれ違い、むなしく通り過ぎようとしているわたし。西行法師はわが身にひきかけて、今ここにある一大事を教えてくださいださっています。では、どうすれば、この夢から目覚めていけるのでしょうか。

「トイレに行く夢みるの、禁止!」

先日、坊守がトイレの夢の禁止令を出しました。小さい娘たちが姉妹そろって世界地図をおふとんに描いたので。寝る前にも、夜中にも、トイレに連れて行っているにもかかわらず…。しかも、そのような日が続いて

いたので、寝不足の上に洗濯物が激増した坊守がたまたま事情聴取をしたところ、長女は「トイレに行く夢を見たんよ」と答えました。しかし、いくらトイレの夢を禁止しても、大きくなるまで、おねしよは当分のあいだ止まらないでしょう。なにしろ本人たちは、夢を見ているとは思っていないのですから。

わたしたちも同じですね。いくら「娑婆の夢みるの禁止!」と言われても、わたしたちは夢を見ているとは思っていません。むしろ、自分は間違っていない、自分こそが正しいと、つねに心の奥底で思っているのです。

その心によって、どれほど苦悩の娑婆を描きつづけていても、夢の中にあるものは、それが夢だとは思いません。夢の外から届いていることば、仏さまの仰せだけが、この夢を破ることができるのです。ともに聴いたしましょう。仏さまのまことの仰せを、お聞かせいただきましょう。